

平成27年度 京都府立城南菱創高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営計画）	前年度の成果と課題	本年度の学校経営の重点（短期経営計画）
1 普通科と専門学科を併置した単位制高校として、斬新かつ先進的な教育を創造する。 2 教育理念（自主創造、真理探究、社会貢献）に基づき、学校目標である「確かな進路実現」「充実した自主活動」を具現化し、『存在感ある学校』へと変容を遂げる。 3 生徒、保護者、地域から信頼される学校づくりに邁進する。	再編開校から6年、城南菱創の良き「校風」と「伝統」の基礎が完成した。 ※学校評価アンケートでは90%以上の生徒が高校生活に充実感・満足感を感じている。 次の3つを重点課題とする。 1 教職員の教育力の向上 2 学校の特色化の推進 3 広報活動の充実	1 斬新かつ先進的な『単位制教育』を推進する。 ※学校の特色化を推進する取組をさらに充実・発展させ、他都道府県からの視察に値するような魅力ある教育活動を推進する。 2 学科・企画推進部を中心として丁寧な広報活動を行い、中学校、中学生・保護者等に役立つ情報を提供する。 3 3年後の進路実績の数値目標（国公立大＋難関私大：140名）の達成に向けて、指導の在り方を模索する。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価		成果と課題
組織・運営	機能的な組織・運営の在り方の追求	① 分掌・教科間の連携を密にし、機能的な学校運営を行う。	A	A	学校運営についての共通理解が深まり、分掌間のスムーズな連携の下、機能的な学校運営を行うことができた。
		② 各分掌・教科及び各個人が、学校経営計画を踏まえた目標を設定し、組織的に教育活動に取り組む。	B		
教科指導	教科指導の向上	③ 学力向上はもちろんのこと、多様な学習ニーズや興味関心に対応できるよう、教科指導力を向上させる。	A	A	スカラー教室や学習スペースを利用して自発的に学習する生徒が増えた。 学力の定着を検証するために実力テスト等の事後指導や結果分析を行い、教科指導力の向上や授業改善に繋げる必要がある。 家庭学習（予習・復習や課題学習）の在り方についても引き続き検討する必要がある。
		④ 教科の特色・特性を生かし、学校の特色化の推進に貢献できる取組をさらに充実・発展させる。	B		
		⑤ 府立高校実力テストや模擬テストの分析を行い、学力の定着度を適宜検証する。※国、数、英、理、社	A		
	学習力の育成	⑥ 生徒が目標達成に向けて、自発的・自律的な学習をできるよう指導し支援する。	B	B	
⑦ 生徒の学習面での課題を的確に把握し、適宜課題等を与えながら、きめ細かな指導・助言を行う。		A			
生徒指導	生活・学習規律の確保	⑧ 規範意識を高め、生徒自らが規律ある学校生活、安心・安全な学校生活を送れるよう指導する。	B	B	保護者との連携の下、きめ細かく生徒指導が行えた。 規範意識の高い生徒が多く、規律ある生活が送れている。
	保護者との連携	⑨ 保護者との連携を密にする。特に課題を有する生徒については、共通認識を持って取り組む。	B		
特別活動	学習と部活動との両立	⑩ 生徒が「切替と集中」により限られた時間を有効活用し、質の高い高校生活が送れるよう指導する。	A		時間管理をしっかりして、有意義な高校生活を送ることができる生徒が増えている。

進路指導	可能性への挑戦を支援する進路指導の推進	⑪ 進路実現に必要な実力を養成するため、補習や学習合宿等を計画的、系統的、効率的に実施する。	A	B	B	土曜補習や長期休業中の講習形態は、ほぼ固まった。 学習合宿については、積極的に学習に取り組む「学習集団」の育成が図れた。 3年生では添削指導など個別指導の充実が図れた。 数値目標には届かなかったものの、最後まで粘り強く努力した。今後3年間の数値目標を設定する。
		⑫ 生徒が希望進路を実現できるように個別指導を充実させ、可能性への挑戦を支援する。	A			
⑬ 学力課題については、模擬テスト等の結果を分析し、学年部や教科と協力して早期対策をとる		B				
⑭ 新課程入試に向けた情報提供と対応（→補習体制＋週末・月間・年間自主学習課題の設定等）		B				
	3年後の数値目標値が達成できるよう指導の在り方の模索	⑮ 「国公立＋難関私立大学」への進学については、数値目標が早期に達成できるよう努力する。	B			
人権 健康 安全 環境	教育的配慮を要する生徒への支援	⑯ 学校生活に困難を有する生徒への支援については教育相談会議等を中心に組織的に取り組む。	A			要配慮生徒については情報を共有し、丁寧に対応した。

学校関係者 評価委員会 による評価	<p>1 開校8年、城南菱創高校の良き「校風」「伝統」の基盤が完成した。今後、一層魅力ある学校作りに邁進する。</p> <p>2 明確な学校経営方針の下、適切な学校運営がなされている。→中学生や保護者、地域の人々からの好評価や大きな期待に繋がっている。</p> <p>3 本校の特色化を推進する高大連携等の取組は充実している。</p> <p>4 進路目標については、新たな数値目標を掲げ、進路指導をさらに充実させる。</p> <p>5 部活動等の課外活動も活発に行われており、地域とも交流も積極的にできている。</p> <p>6 活発な広報活動がなされている。HPでの広報活動は積極的に行われており、丁寧な情報発信がなされている。</p> <p>今後も、学力偏重にならないように、学力向上と自主活動活性化の調和のとれた学校運営に努める。</p>
-------------------------	--

次年度に 向けた改善 の方向性	<p>1 全ての生徒が、本校の目標である「確かな進路実現」「充実した自主活動」を達成できるよう、個別指導や支援の充実に努める。</p> <p>2 保護者との連携を図りながら、生徒達の規範意識の高揚・マナーの向上に努めるとともに、生徒達が安全・安心で充実した学校生活を送り、一人一人が良識ある個人として自らを律し、自立できるように指導する。</p> <p>3 中学生及びその保護者が本校をより良く理解し確かな進路選択ができるよう、親切かつ丁寧に情報提供を行う。 (中学校への定期的な訪問、学校説明会・施設設備の見学会の実施、体験授業・部活動体験等の実施、中学生による学校訪問受入れ、中学校への出前授業の実施、中学校での進路説明会への参加等)</p>
-----------------------	---

